

## XENYX QX2442USB

Premium 24-Input 4/2-Bus Mixer with XENYX Mic Preamps & Compressors,  
Klark Teknik Multi-FX Processor, Wireless Option and USB/Audio Interface

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カート

を使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

**限定保証**

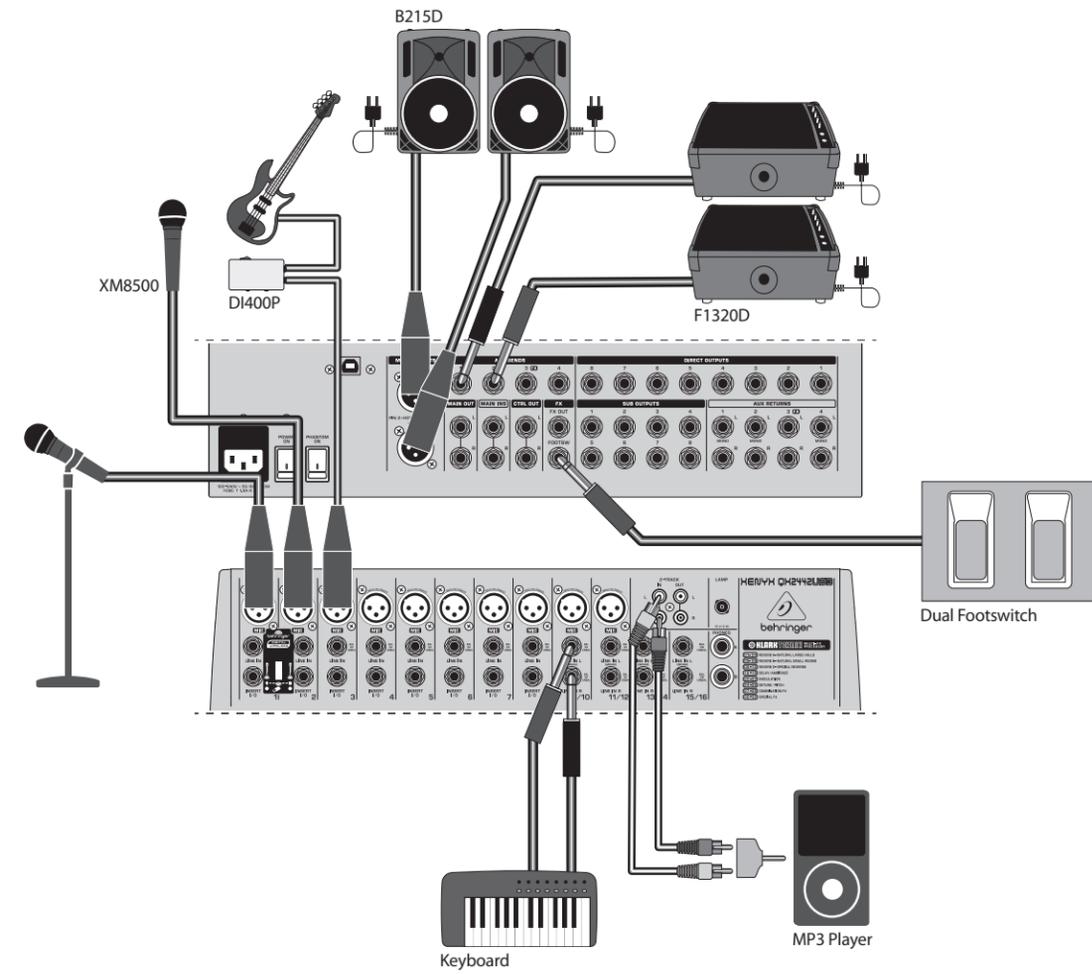
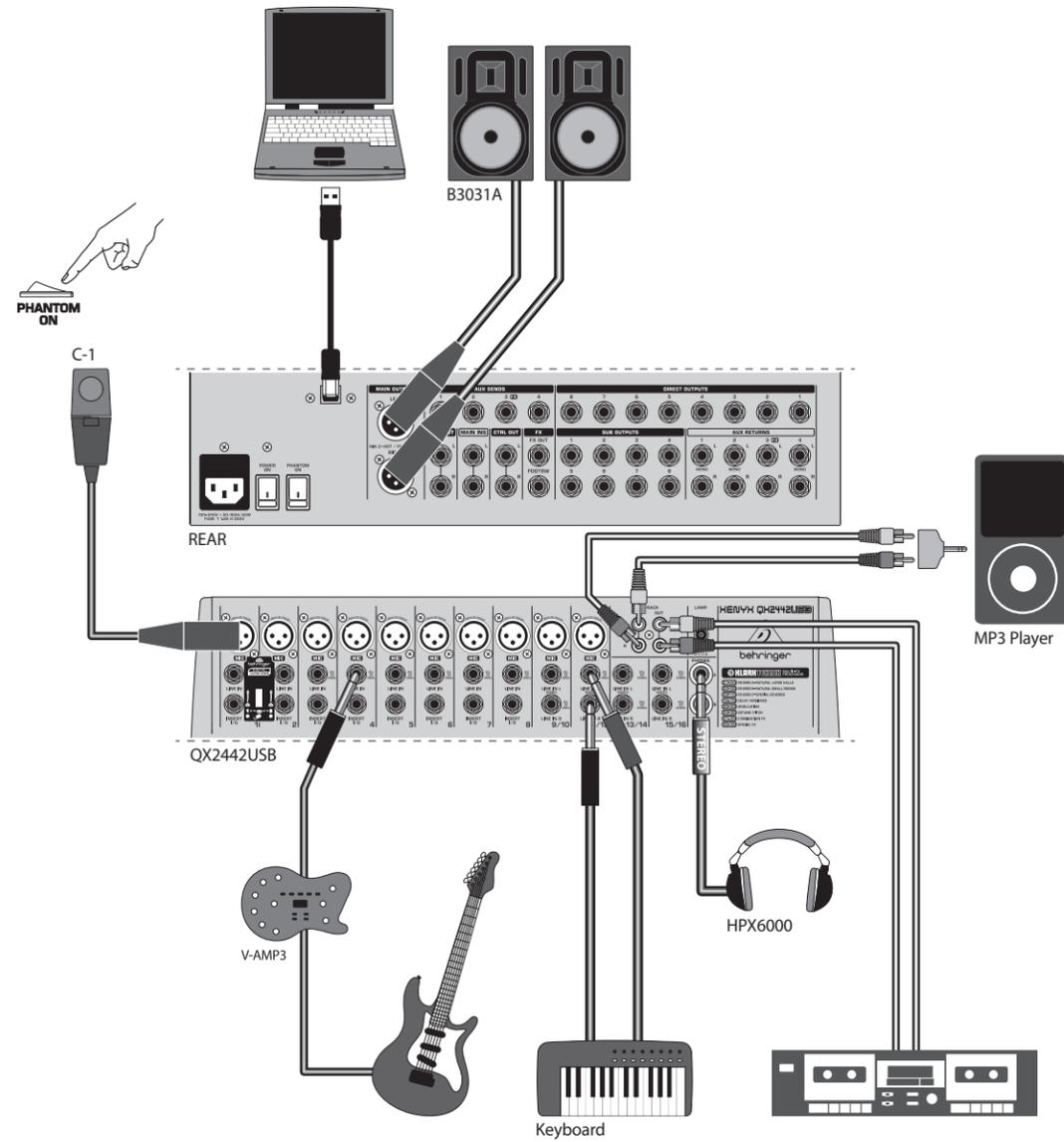
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [community.musictribe.com/pages/support#warranty](https://community.musictribe.com/pages/support#warranty) にて詳細をご確認ください。

# XENYX QX2442USB フックアップ

## ステップ 1: フックアップ

プロジェクト スタジオ

バンドまたは小規模イベント、  
ステージモニター使用



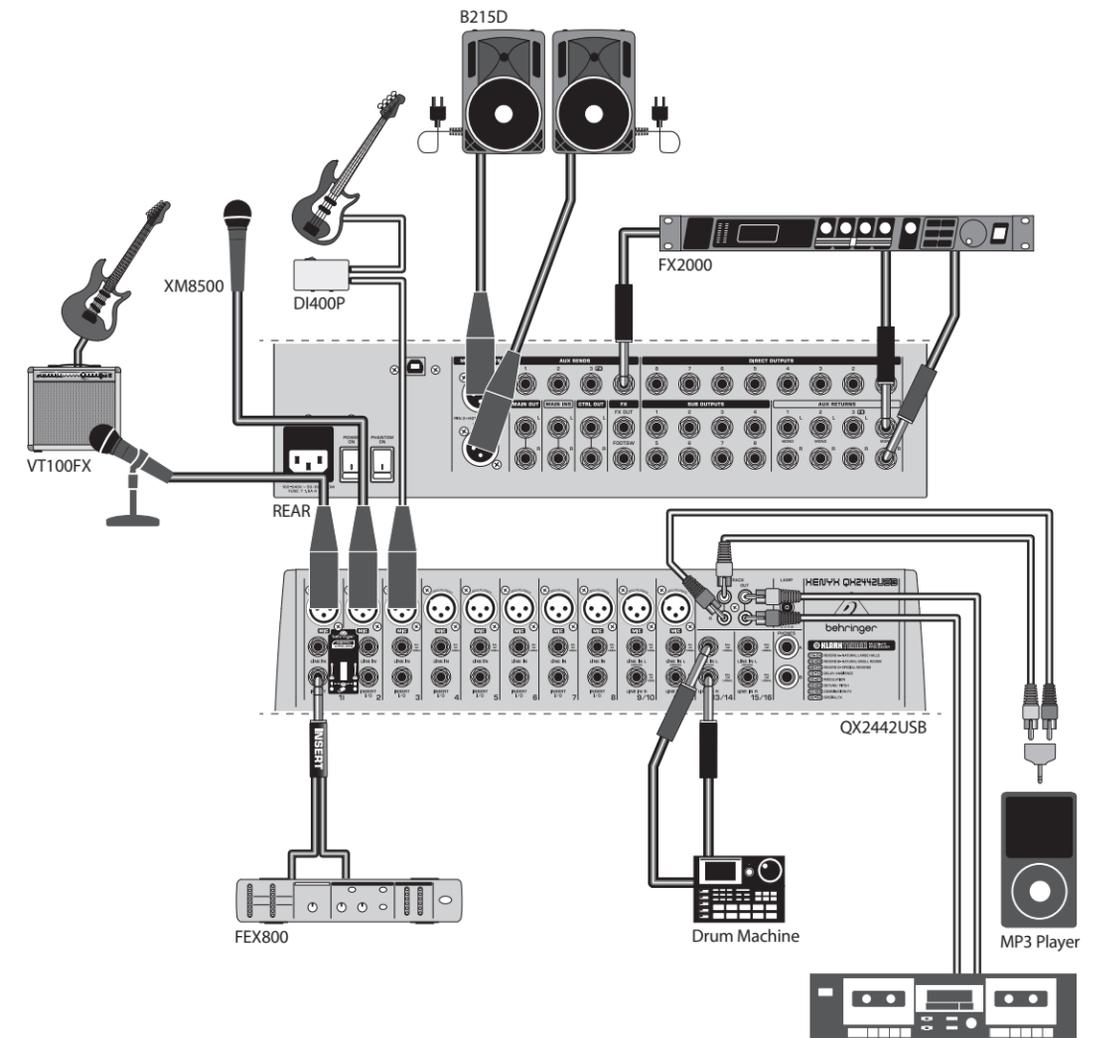
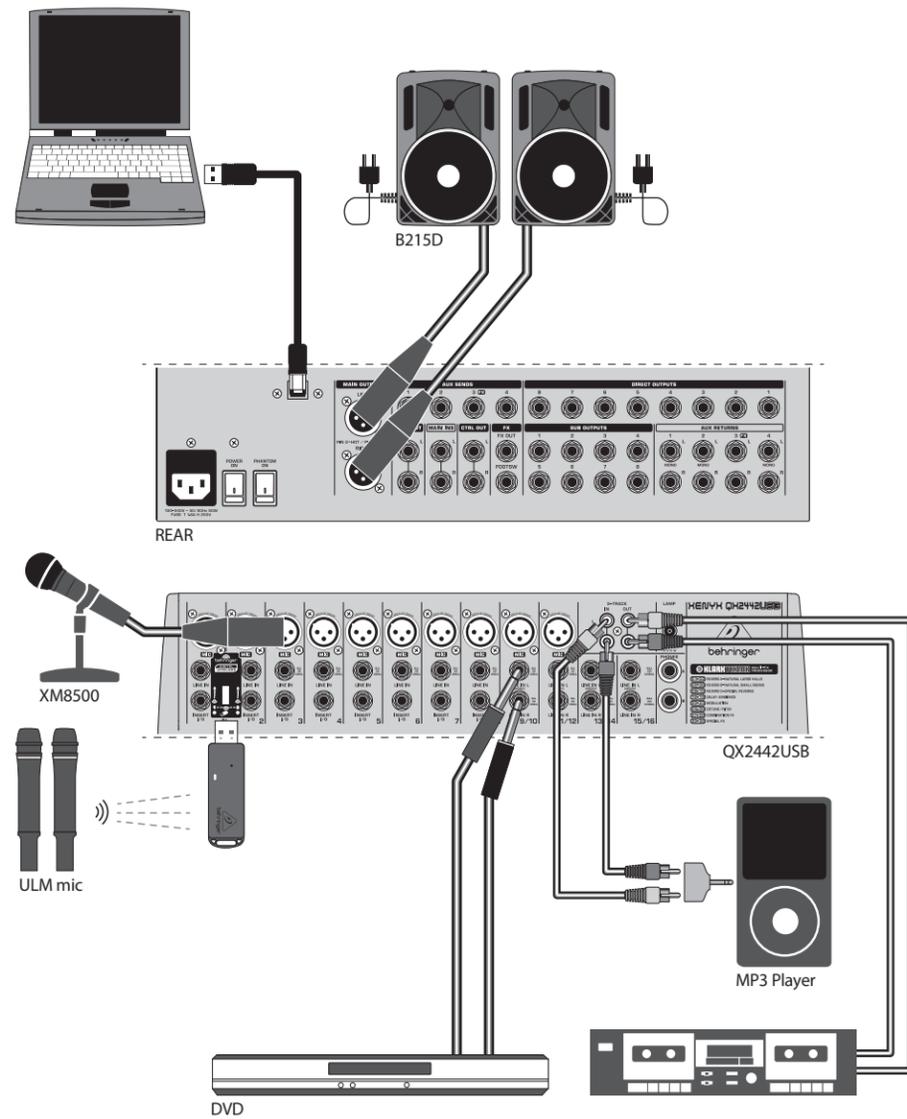
# XENYX QX2442USB フックアップ

JP

## ステップ 1: フックアップ

ビジネス / マルチメディア  
のプレゼンテーション

バンドまたは小規模イベント、  
外部エフェクト使用

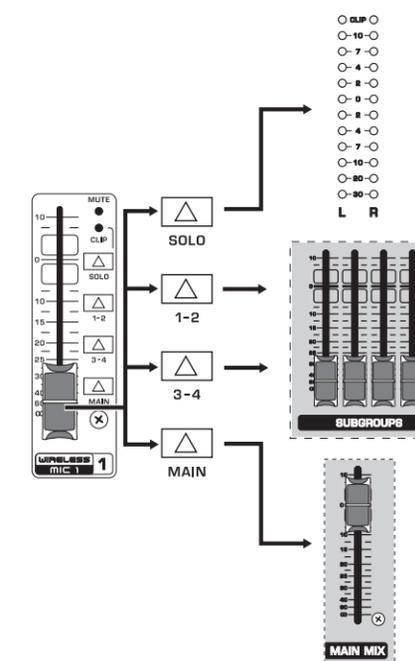
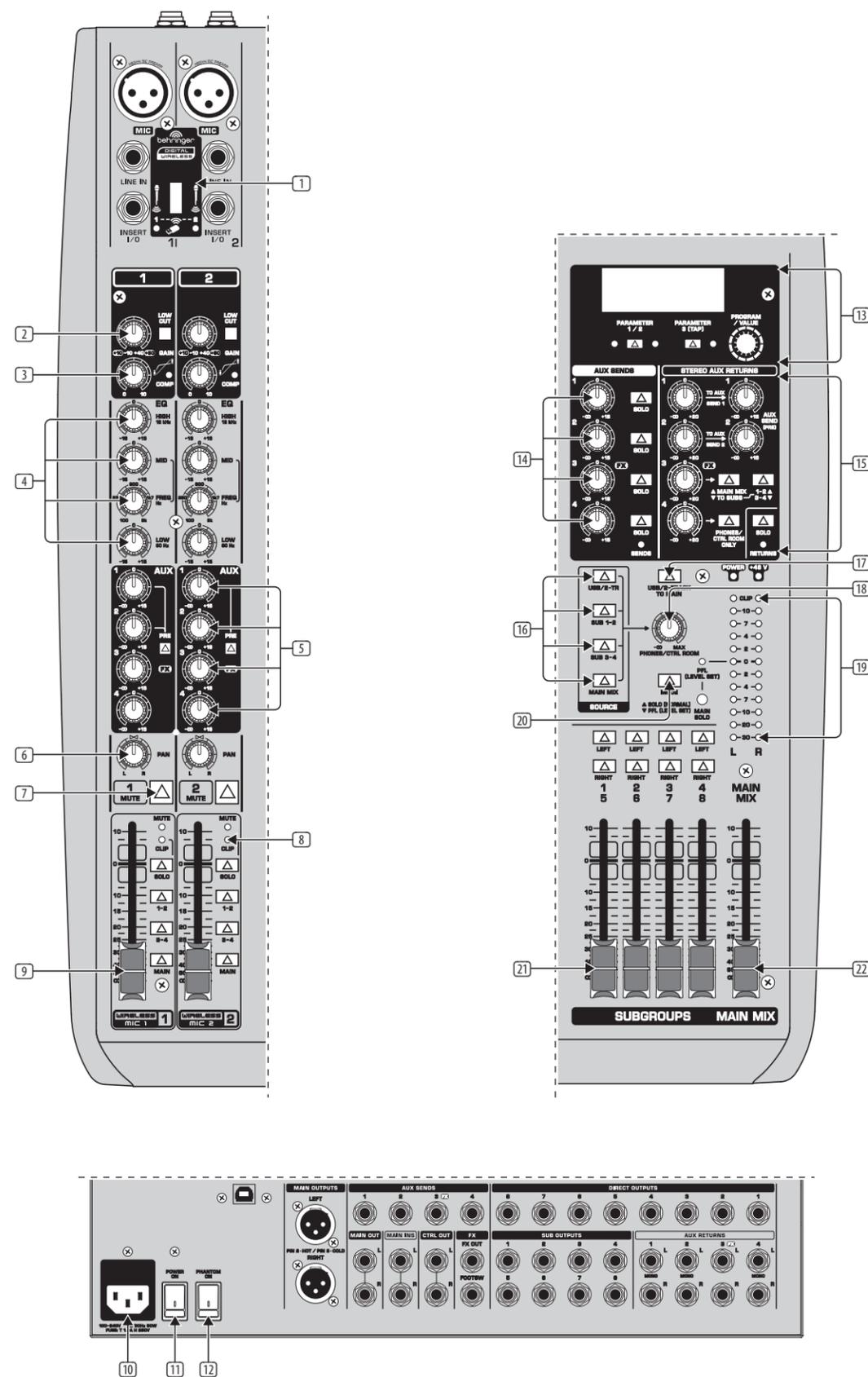


# XENYX QX2442USB コントロール

JP

## ステップ 2: コントロール

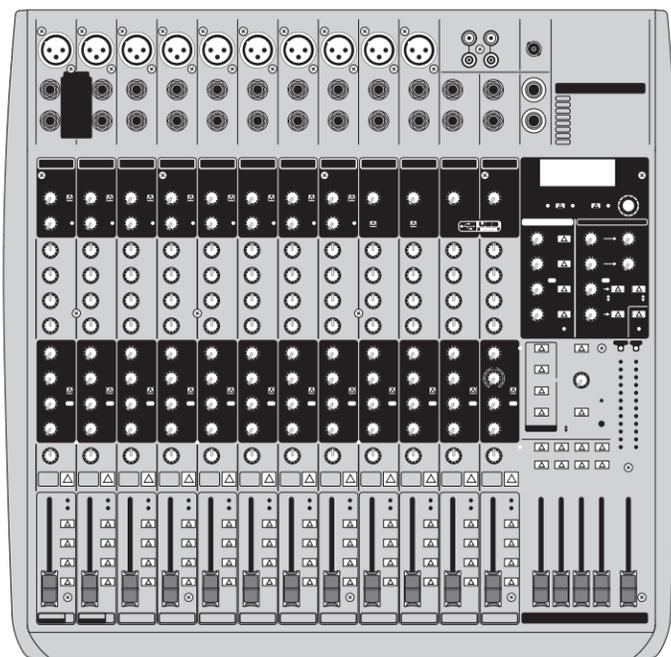
- ① **USB** ワイヤレスインプットは Behringer ULM ワイヤレス マイク用 USB 受信機を装着します。
- ② **GAIN** ノブは MIC または LINE 入力感度を調整します。
- ③ **COMP** ノブはチャンネルに搭載されたコンプレッサーを調整します。
- ④ **EQ** ノブはチャンネルの HIGH, MID および LOW の周波数を調整します。MID の周波数を変更したい場合はチャンネル上の **FREQ** ノブを調整します。
- ⑤ **AUX** ノブは **AUX SEND** 端子にチャンネル信号をどの位送るかを調整します。ステージモニターに信号を送るときは **PRE** ボタンを押してください。FX ノブで内蔵のマルチFXプロセッサにチャンネル信号を送ります。
- ⑥ **PAN/BAL** ノブはチャンネルステレオ定位を調整します。
- ⑦ **MUTE** ボタンはチャンネルをミュートします。
- ⑧ **CLIP LED** は入力信号がオーバードロードすると点灯します。
- ⑨ チャンネルフェーダーはチャンネルのボリュームを調整します。
- ⑩ 電源入力は付属の電源ケーブルで電源コンセントに接続します。
- ⑪ **POWER ON** スイッチはミキサーをオン / オフします。
- ⑫ **PHANTOM ON** スイッチはコンデンサーマイクを使用するために XLR 入力へ 48V を供給します。
- ⑬ マルチ FX プロセッサによって任意のチャンネルの FX ノブを上げることにより選択したサウンドエフェクトをかけることができます。詳細については、マルチ FX プロセッサセクションを参照してください。
- ⑭ **AUX SENDS** はエフェクトプロセッサやモニタースピーカーに送られる **AUX SEND** 端子の信号のレベルを調整します。
- ⑮ **AUX RETURNS** は外部エフェクトプロセッサからの信号のレベルを調節します。モニターミックスにエフェクト信号をミックスするには **TO AUX SEND** ノブを使用してください。
- ⑯ **SOURCE** ボタンは **PHONES** および **CONTROL ROOM** 端子に **MAIN MIX**, **USB/2-TR**, **SUB** へをルーティングします。
- ⑰ **USB/2-TR TO MAIN** ボタンは **2-TRACK** と **USB** 信号を **MAIN MIX** へルーティングします。
- ⑱ **PHONES / CTRL ROOM** ノブはヘッドフォンやスタジオモニターの音量を調整します。
- ⑲ **VU METER** は **MAIN OUTPUT** の信号レベルを表示します。
- ⑳ **MODE** ボタンは、各チャンネルを **SOLO** (ボタン上がった状態) または **プリフェーダー** (ボタン下がった状態) として動作するかどうかを決定します。PFL (プリフェーダーリスン) はゲインセットに最適です。
- ㉑ **SUB** フェーダーは **SUB OUTPUT** 端子の出力を調整します。SUB 左または右の信号を **MAIN MIX** に割り当てるためには **LEFT/RIGHT** ボタンを使用します。
- ㉒ **MAIN MIX** フェーダーはミキサーの全体出力を調節します。



# XENYX QX2442USB はじめに

JP

## ステップ 3: はじめに

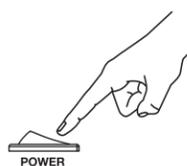


**1** 全ての機器の電源をオフにして下さい。

**2** 適切な電源、オーディオ、USB ケーブルをミキサーに接続します。

**3** 上記のようにすべてのコントロールを設定します。(EQ、PAN/BAL はセンター、その他全てはダウンもしくはオフ)。

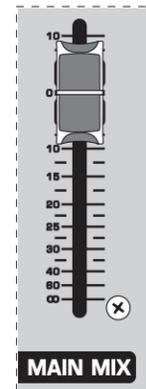
**4** 本機の電源を入れます。



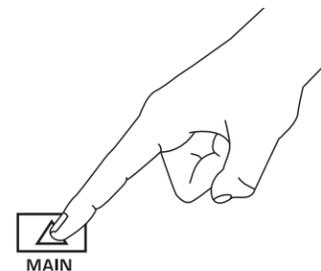
**5** 各チャンネルの GAIN をセットしてください。詳細についてはゲイン設定セクションを参照してください。

**6** MAIN MIX フェーダーと PHONES/CTRL RM ノブのすべてを下げ、PA システムやパワードモニターをオンにします。

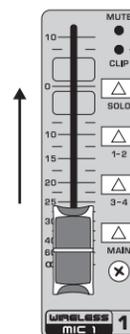
**7** ゆっくりと MAIN MIX フェーダーまたは PHONES/CTRL RM ノブを適切なレベルに上げます。



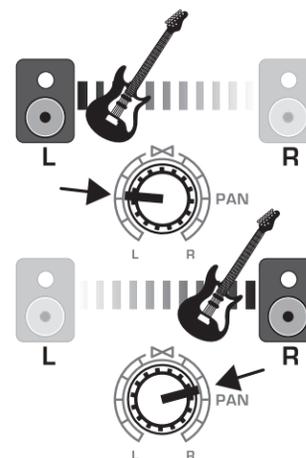
**8** MAIN MIX にチャンネルを割り当てるために、各チャンネルの MAIN ボタンを押します。



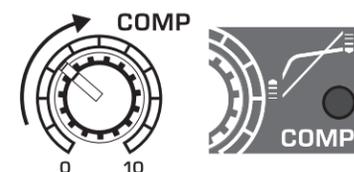
**9** 各 CHANNEL フェーダーを上げ、マイクまたはその他機材に適したレベルに調節してください。



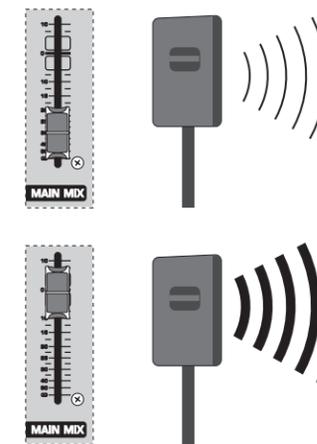
**10** チャンネルの PAN または BAL つまみを回すことで、ステレオ定位を調整します。



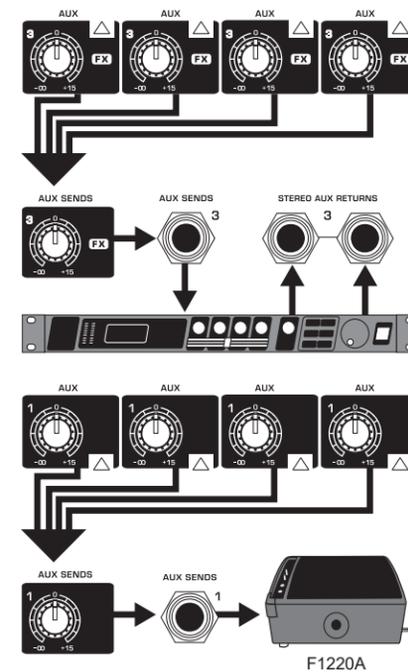
**11** 必要に応じて COMP ノブでコンプレッションを調整して下さい。



**12** ライブ用途では、MAIN MIX フェーダーを上げることで、ミキサーから接続されたパワーアンプやパワードスピーカーの出力全体を調整します。VU メーター上の赤い CLIP LED が点灯する場合、MAIN MIX フェーダーを下げてください。



**13** AUX ノブおよびマスター AUX SEND ノブを使い、AUX SEND ジャックに接続されたエフェクトプロセッサまたはステージモニターへチャンネル信号を送ってください。外部エフェクトに使用する場合は、プロセッサから AUX RETURN ジャックへ信号を戻してください。

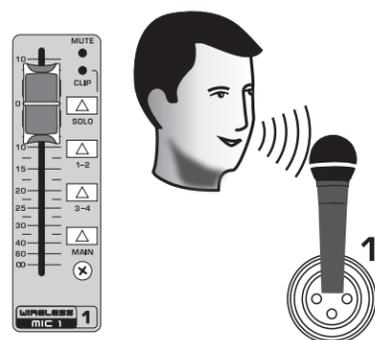


## XENYX QX2442USB ゲイン設定

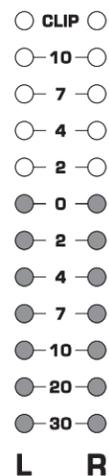
### ステップ 4: ゲイン設定

QX2442USB のチャンネルゲイン設定:

- 1 チャンネル 1 の SOLO ボタンを押します。METER が PFL (プリフェーダーリスン) モードで作動ように VU METER に隣接する MODE ボタンを押してください。
- 2 歌ったり演奏したりしながら、チャンネル 1 に接続したマイクや楽器を適正レベルに調整します。



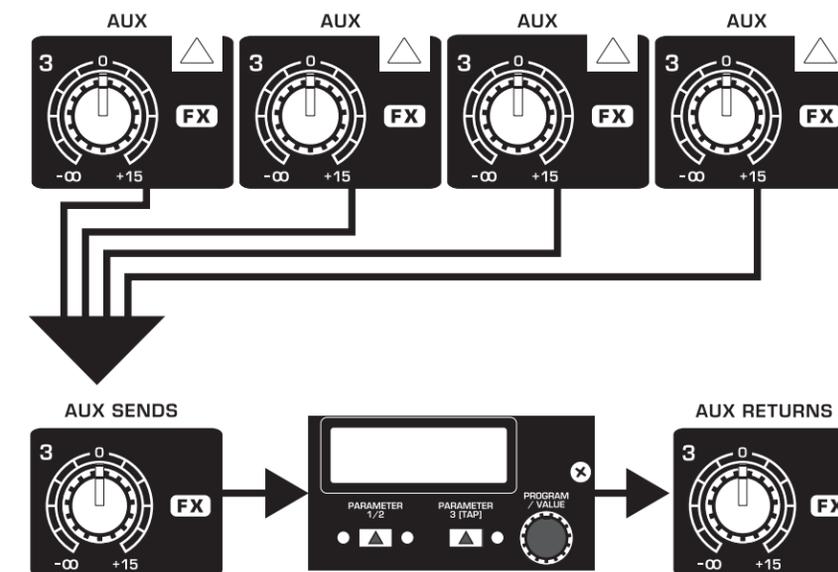
- 3 歌ったり演奏したりしながら、チャンネル 1 の GAIN コントロールを調整します。VU メーターは信号レベルを示します。最大ピークが VU メーターの 0 に達するように GAIN コントロールを調整します。調整終了後、チャンネル 1 の SOLO を再び押します。



- 4 他のチャンネルも手順 1、3 を繰り返します。

## XENYX QX2442USB マルチエフェクトプロセッサ

### ステップ 5: マルチエフェクトプロセッサ



ミキサーには内蔵のプロセッサが搭載されています。チャンネルにエフェクトを追加するには、次の手順に従ってください。

- 1 任意のチャンネルにエフェクトを追加する場合、チャンネル FX ノブを半分程回します。
- 2 FX AUX SEND と FX の AUX RETURN ノブを 0 まで回します。後でそれらは調整することができます。
- 3 PROGRAM ノブを回しエフェクトをスクロールさせます。プリセット番号が点滅します。PROGRAM ノブを押してエフェクトを選択します。
- 4 パラメーター調整 1 および 2:
  - エフェクトを選択した後にプリセット (ステップ 3) 編集モードに入るには PARAM 1/2 ボタンを押してください。PARAM 1/2 ボタンの左側の LED は、パラメータ 1 がアクティブであることを示すため点灯します。
- 5 パラメーター調整 3:
  - プリセットを選択した後、編集モード入るには PARAM 3/TAP ボタンを押してください。LED は選択されたパラメーターによりパラメーターの A/B 値ステータスを示すか、または現在の BPM を示し点滅します。
  - A/B 値のステータスを変更するには、PARAM 3/TAP ボタンを押します。もしくは新規に BPM を設定する場合はリズムに合せボタンを数回タップしてください。
  - 設定から 4 秒後、自動的に編集モードを終了します。また、手動で編集モードを終了したい場合は PROGRAM ノブを押します。
- 6 エフェクトが適切なレベルで機能するように各チャンネルの FX ノブを調整してください。ディスプレイのメータに OL (オーバーロード) のセグメントが点灯した場合は、FX AUX SEND ノブ/フェーダーを下げます。
- 7 FX FOOTSW ジャックはシングルフットスイッチ使用の場合 FX バイパス用に、デュアルフットスイッチではバイパスと PARAM 3/TAP 調整 (A/B セレクトやテンポをタップ) に対応します。
- 8 FX OUT 端子は内蔵 FX プロセッサから"ウェット"信号を送ります。

# マルチエフェクトプロセッサプリセットチャート

#	プリセット名	パラメーター. 1	レンジ	パラメーター. 2	レンジ	パラメーター. 3/TAP	レンジ (LED 表示)
<b>01-04 リバーブ A-ナチュラルラージホール</b>							
01	教会	減衰時間	1.00 ~ 10.00	部屋の形	1 ~ 50	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
02	コンサートホール 1	減衰時間	0.50 ~ 5.00	コーラス	1 ~ 30	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
03	コンサートホール 2	減衰時間	1.00 ~ 5.00	初期反射レベル	-12 ~ +12	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
04	劇場	減衰時間	0.40 ~ 3.00	深さ	0 ~ 9	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
<b>05-08 リバーブ B-ナチュラルスモールルーム</b>							
05	部屋 1	減衰時間	0.50 ~ 5.00	密度	0 ~ 100	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
06	部屋 2	減衰時間	0.30 ~ 2.50	事前遅延	0 ~ 50	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
07	部屋 3	減衰時間	0.20 ~ 10.00	事前遅延	0 ~ 200	ポジション	フロント (オフ) / リア (オン)
08	チャンバー	減衰時間	0.10 ~ 3.00	部屋の大きさ	1 ~ 30	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
<b>09-15 リバーブ C-スペシャルリバーブ</b>							
09	VINTAGE DIGITAL REVERB	減衰時間	0.40 ~ 4.50	高周波ダンピング	X 0.25, 0.33, 0.50, Max	アウトセレクト	リア (オフ) / フロント (オン)
10	プレートリバーブ 1	減衰時間	0.50 ~ 3.00	事前遅延	0 ~ 40	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
11	プレートリバーブ 1	減衰時間	0.30 ~ 4.00	事前遅延	0 ~ 40	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
12	スプリングリバーブ	減衰時間	1.00 ~ 4.00	事前遅延	0 ~ 150	タイプ	ヴィンテージ (オフ) / モダン (オン)
13	ゲートリバーブ 1	減衰時間	1 ~ 12	事前遅延	0 ~ 400	タイプ	ALIVE (オフ) / GATED (オン)
14	ゲートリバーブ 2	減衰時間	1 ~ 20	事前遅延	0 ~ 30	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
15	リバーズドリバーブ	減衰時間	1 ~ 20	事前遅延	0 ~ 30	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)

#	プリセット名	パラメーター. 1	レンジ	パラメーター. 2	レンジ	パラメーター. 3/TAP	レンジ (LED 表示)
<b>16-19 遅延/雰囲気</b>							
16	ディレイ	フィードバック	0 ~ 100	モード	モノ, ピンポン, スプレッド	遅延時間	72 ~ 500 (点滅 @ テンポ)
17	エコー	フィードバック	0 ~ 100	ダンピング	1 ~ 50	エコータイム	72 ~ 500 (点滅 @ テンポ)
18	雰囲気	部屋の大きさ	1 ~ 30	テールゲイン	0 ~ 100	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
19	初期の反射	部屋の大きさ	1 ~ 30	拡散	1 ~ 20	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
<b>20-23 変調</b>							
20	CHORUS	深さ	-20 ~ +20	LFO Speed	0.05 ~ 5.00	LFO Waveform	TRIANGLE (off), SINE (on)
21	FLANGER	深さ	-20 ~ +20	Resonance	-100 ~ +100	Mod Tempo	5 ~ 400 (点滅 @ テンポ)
22	PHASER	深さ	-20 ~ +20	Resonance	1 ~ 50	Mod Tempo	5 ~ 400 (点滅 @ テンポ)
23	AUTO-PAN / TREMOLO	深さ	-100 ~ +100	LFO Waveform	Triangle, Ramp, Square	Mod Tempo	5 ~ 400 (点滅 @ テンポ)
<b>24-26 DETUNE / PITCH</b>							
24	DETUNE	デチューン	-99 ~ +99	PreDelay	0 ~ 300	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)
25	ピッチシフター 1	シフトに注意してください	-12 ~ +12	PreDelay	0 ~ 300	デチューン	0 (オフ) / 20 (オン)
26	ピッチシフター 2 (デュアル)	シフト A に注意してください	-12 ~ +12	シフト B に注意してください	-12 ~ +12	ステレオスプレッド	ナロー (オフ) / ワイド (オン)
<b>27-29 COMBI-FX</b>							
27	遅延 + コーラス	遅延 <> コーラスバランス	-50 ~ +50	コーラスの深さ	-20 ~ +20	遅延時間	75 ~ 500 (点滅 @ テンポ)
28	DELAY + リバーブ	ディレイ <> リバーブバランス	-50 ~ +50	リバーブディレイ	1.00 ~ 5.00	遅延時間	114 ~ 500 (点滅 @ テンポ)
29	コーラス + リバーブ	コーラス <> リバーブバランス	-50 ~ +50	リバーブディレイ	1.00 ~ 5.00	コーラスの深さ	ソフト (オフ) / ディープ (オン)
<b>30-32 スペシャル FX</b>							
30	LFO ローパスフィルター	深さ	-20 ~ +20	共振	1 ~ 30	LFO タイム	5 ~ 400 (点滅 @ テンポ)
31	トークボックス	母音 1	A, E, I, O, U	母音 2	A, E, I, O, U	LFO タイム	5 ~ 400 (点滅 @ テンポ)
32	CLIPPER DISTORTION	ねじれ	1 ~ 100	ローカットフィルター	50.0 ~ 500.0	ダンピング	ダーク (オフ) / ブライツ (オン)

# JP 技術仕様

モノラル入力	
マイク入力 (XENYX マイクプリアンプ)	10
タイプ	XLR コネクタ、バランス型ディスクリート入力回路
Mic E.I.N. (20 Hz - 20 kHz)	
@ 0 Ω ソース抵抗	-134 dB / -136 dB A-加重
@ 50 Ω ソース抵抗	-131 dB / -133 dB A-加重
@ 150 Ω ソース抵抗	-129 dB / -131 dB A-加重
周波数応答 (-1 dB)	<10 Hz - 150 kHz (-1 dB)
周波数応答 (-3 dB)	<10 Hz - 200 kHz (-3 dB)
ゲイン範囲	+10 dB to +60 dB
最大入力レベル	+12 dBu @ +10 dB 利得
インピーダンス	2 kΩ バランスの取れた
信号対雑音比	108 dB / 110 dB A-加重 (0 dBu In @ +22 dB 利得)
ねじれ (THD+N)	0.005% / 0.004% A-加重
ファンタム電源	切り替え可能, +48 V
ライン入力	
タイプ	¼" TRS コネクタ, バランス
インピーダンス	20 kΩ バランスの取れた, 10 kΩ 不均衡
ゲイン範囲	-10 dB to +40 dB
最大入力レベル	30 dBu
周波数応答 (マイク入力 → メインアウト)	
<10 Hz - 160 kHz	±3 dB
ステレオ入力	
タイプ	4 x ¼" TRS コネクタ, バランス
インピーダンス	20 kΩ バランスの取れた, 10 kΩ 不均衡
ゲイン範囲	-20 dB to +20 dB
最大入力レベル	+22 dBu
2-トラックイン	
タイプ	RCA connector
インピーダンス	10 kΩ
最大入力レベル	+22 dBu
イコライザー 3 バンド	
低	80 Hz / ±15 dB
ミッド	Variable 100 Hz - 8 kHz / ±15 dB
高い	12 kHz / ±15 dB
イコライザー 4 バンド固定	
低	80 Hz / ±15 dB
ローミッド	500 Hz / ±15 dB
ハイミッド	3 kHz / ±15 dB
高い	12 kHz / ±15 dB
チャンネルインサート	
タイプ	¼" TRS コネクタ, バランス
最大入力レベル	+22 dBu
AUX 送信	
タイプ	4 x ¼" TRS コネクタ, バランス
インピーダンス	120 Ω
最大出力レベル	+22 dBu

AUX リターン	
タイプ	4 x ¼" TRS コネクタ, バランス
インピーダンス	20 kΩ バランスの取れた, 10 kΩ 不均衡
最大入力レベル	+22 dBu
主な出力	
タイプ	XLR コネクタ, バランス
インピーダンス	240 kΩ バランスの取れた, 120 kΩ 不均衡
最大出力レベル	+28 dBu
制御室の出力	
タイプ	¼" TRS コネクタ, バランス
インピーダンス	120 Ω
最大出力レベル	+22 dBu
電話出力	
タイプ	¼" TRS コネクタ, 不平衡
インピーダンス	25 Ω
最大出力レベル	+21 dBu / 150 Ω (+25 dBm)
2-トラックアウト	
タイプ	RCA コネクタ
インピーダンス	1 kΩ
最大出力レベル	+22 dBu
DSP	
タイプ	Klark Teknik
コンバータ	24-bit Sigma-Delta 64/128-オーバーサンプリング回数
サンプリングレート	40 kHz
ワイヤレス入力	
USB ドングル	2つの独立した Behringer ULM マイクからの信号を受け入れます
メインミックスシステムデータ (ノイズ)	
メインミックス @ -∞, チャンネルフェーダー @ -∞	-102 dB / -105 dB A-加重
メインミックス @ 0 dB, チャンネルフェーダー @ -∞	-85 dB / -88 dB A-加重
メインミックス @ 0 dB, チャンネルフェーダー @ 0 dB	-77 dB / -79 dB A-加重
電源	
主電源電圧	100 - 240 V~, 50/60 Hz
消費電力	50 W
ヒューズ (100 - 240 V~, 50/60 Hz)	T 1.6 A H 250 V
メインコネクタ	標準 IEC レセプタクル
USB	
コネクタ	タイプ B
オーディオ	ステレオイン/アウト
コンバータ	16-bit
サンプルレート	48 kHz
物理的/重量	
寸法 (W x D x H)	17.5 x 17.3 x 5.5" / 445 x 440 x 140 mm
重量	12.6 lbs / 5.7 kg

# その他の重要な情報

## JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:** ユニットの電源ソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You